

生成AIの関与度 判定フロー

作品ごとに判定します。作者に区分は付きません。



作品の中で部分ごとに区分が違う場合

関与が最も大きい区分を全体の区分として申告し、内訳を付記します。 例：区分D（人物：A／背景：D）

この図で判定できるのは「区分」だけです

表示には水準（V0～V4）が必要です。区分は作品に、水準は作者に付きます。
水準は作者の証跡管理体制に対する検証の度合いです。詳細は規格本体をご覧ください。

 **来歴** | **B-V3** |  **検証済**